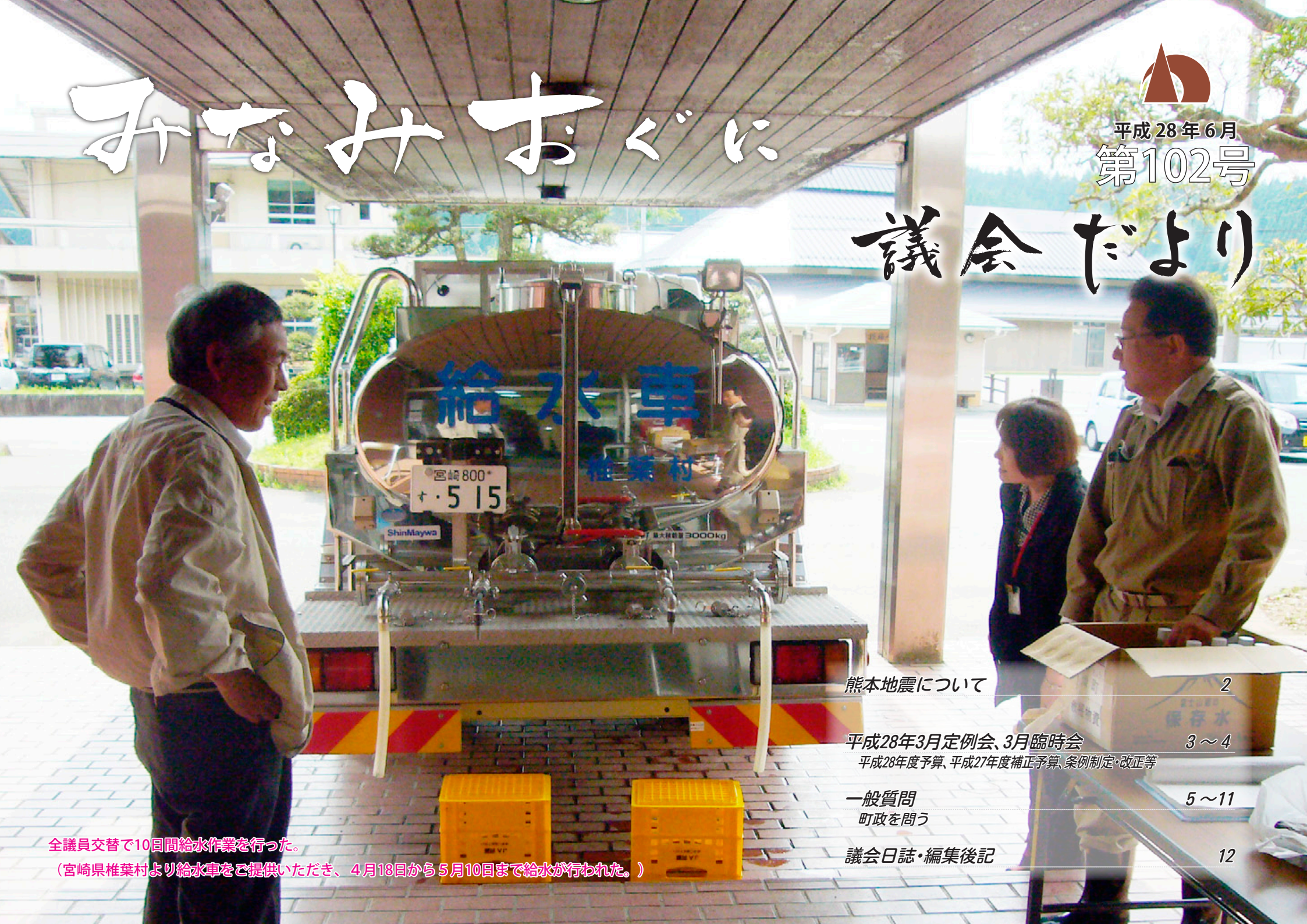
みなみおぐに 議会だより

平成28年6月
第102号



全議員交替で10日間給水作業を行った。
（宮崎県椎葉村より給水車をご提供いただき、４月18日から５月10日まで給水が行われた。）

熊本地震について　2

平成28年3月定例会、3月臨時会　3～4
平成28年度予算、平成27年度補正予算、条例制定・改正等

一般質問　5～11
町政を問う

議会日誌・編集後記　12

熊本地震、被害にあわれたみなさまにお見舞い申し上げます

4月14日、そして16日と二度にわたる震度七の地震を観測した今回の熊本地震、一か月以上が経過した今もなお終わりが見えない状況が続いています。町内でも、家屋をはじめ、農地、水路、道路などに被害が及び、また、水が飲めないという事態も連休明けまで続きました。被害にあわれたみなさまにこころよりお見舞いを申し上げます。

今回の地震では、益城町をはじめ西原、南阿蘇、阿蘇市など、深刻な被害が発生し、いまも多くの方が避難所での生活を余儀なくされています。こうしたなか、全国各地からの支援物資もたくさん届けられ、町でも役場では収まりきれない状況です。こうした支援に感謝しつつこれからが復興への道のりです。議会としても全力で取り組む覚悟です。

力を合わせがんばりましょう。　　5月16日

黒川保育園：園庭入口手洗い場付近の亀裂

黒川保育園：裏側の亀裂

町道上矢田原線の落石：後日、陸上自衛隊高田部隊（新潟県）、第12旅団（群馬県）の皆さんにより撤去されました。ありがとうございました。

平成28年3月　第1回定例会

平成28年第1回定例会が3月8日から14日までの5日間開かれた。一般質問には7人が登壇し、町長の施策を質した。この定例会では、平成28年度一般会計、7つの特別会計予算をはじめ、平成27年度補正予算、条例の制定・改正など41議案が提出され、慎重な審議の結果、41議案とも可決となった。

平成 28 年度　総予算額 54 億 8,073 万 4 千円（前年比 0.5%の減）

一般会計
36 億 6,542 万円
（対前年比 5.6%の増）

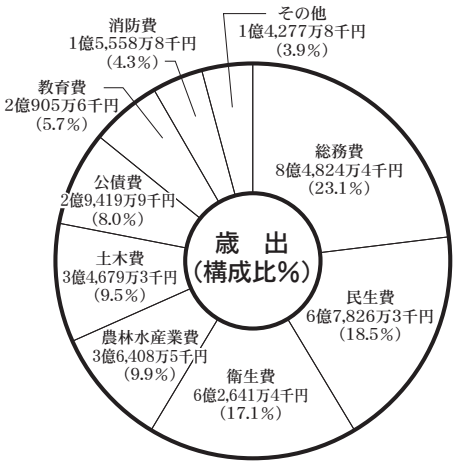
特別(7)会計
18 億 1,531 万 4 千円
（対前年比 11.0%の減）

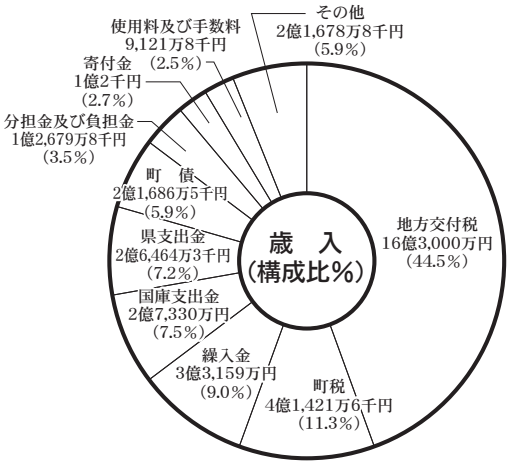
（単位：千円）

会計名		平成 28 年度（当初予算）	平成 27 年度（6 月補正後）	前年比
一般会計		3,665,420	3,471,344	5.6%
特別会計	国民健康保険	791,406	808,717	△ 2.1%
	後期高齢者医療	57,900	57,768	0.2%
	介護保険	551,786	535,220	3.1%
	水道事業	136,641	250,108	△ 45.4%
	農業集落排水事業	28,822	88,514	△ 67.4%
	特定地域生活排水処理事業	28,195	28,162	0.1%
	公共下水道事業	220,564	270,486	△ 18.5%
	計	1,815,314	2,038,975	△ 11.0%
合計		5,480,734	5,510,319	△ 0.5%

（※平成 27 年度は骨格予算のため、6 月補正後の数値で計上）

平成 28 年度　一般会計内訳





●平成28年度一般会計予算

主な事業

南小国町旧庁舎解体工事　9000万円
再生可能エネルギー調査業務委託料　404万円
黒川地区環境整備工事　6000万円
地方バス運行等特別対策補助金　2800万円
地籍調査委託料　2895万円
CATV・イントラ更新業務委託料　2080万円
臨時福祉給付金　3045万円
中山間地域等直接支払制度交付金　7650万円
農業農村整備事業水路改修工事　2400万円
山村広場改修工事　3323万円
間伐材供給安定緊急対策事業補助金　2500万円
商工会プレミアム補助金　800万円
町道改良工事他　1億5200万円

原案可決

●平成28年度特別会計予算

主な事業

国民健康保険
保険給付費　4億3651万円

後期高齢者医療
医療広域連合納付金　5377万円

介護保険
保険給付費　5億2557万円

水道事業
水道維持費　3989万円
公債費　8327万円

農業集落排水事業
集落排水管理費　1271万円
公債費　1600万円

特定地域生活排水処理事業
生活排水処理費　2386万円

公共下水道事業
下水道維持費等　1億1154万円
公債費　1億892万円

原案可決

●平成27年度補正予算

▼町長専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

一般会計補正予算書（第9号）

除雪委託料　800万円

（承認）

一般会計補正予算書（第10号）

道路新設改良費等、合計1億4884万円を減額

（原案可決）

国民健康保険特別会計補正予算書（第4号）

保険給付費等951万円を減額

（原案可決）

後期高齢者医療特別会計補正予算書（第2号）

後期高齢者医療広域連合納付金等140万円を減額

（原案可決）

介護保険特別会計補正予算書（第4号）

保険給付費等1083万円を減額

（原案可決）

水道事業特別会計補正予算書（第5号）

水道総務費に3万円を増額

（原案可決）

農業集落排水処理事業特別会計補正予算書（第3号）

集落排水費に8万円を増額

（原案可決）

特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算書（第3号）

生活排水処理費を646万円減額

（原案可決）

公共下水道事業特別会計補正予算書（第4号）

下水道費に7万円を増額

（原案可決）

●条例等の改正

▼一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町公民館設置条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町公民館使用条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町公共施設の暴力団排除に関する条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

▼南小国町議会会議規則の一部を改正する規則について

（原案可決）

▼南小国町議会傍聴規則の一部を改正する規則について

（原案可決）

●条例制定

▼南小国町行政不服審査法施行条例の制定について

▼南小国町行政不服審査法に基づく実費弁償び関する条例の制定について

（総務文教常任委員会付託）

（委員長報告）（原案可決）

▼南小国町行政不服審査法に基づく手数料に関する条例の制定について

（総務文教常任委員会付託）

（委員長報告）（修正可決）

▼行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

（原案可決）

●共同設置について

熊本広域行政不服審査会の共同設置について

（原案可決）

●財産の貸付の変更について

きよら歯科診療施設の貸付

（原案可決）

●指定管理者の指定

▼総合物産館（きよらカアサ）

▼交流促進センター（温泉館きよら）

▼きのこ菌床培養等施設（きのこセンター）

指定管理者

株式会社きよらカアサ

（原案可決）

▼地域福祉センター（りんどう荘）

▼介護保険関連サービス施設

（湯夢プラザ）

（元気プラザ）

（さくら荘）

指定管理者

南小国町社会福祉協議会

（原案可決）

平成28年 第2回臨時会

第2回臨時会が3月28日に開催され、3議案が可決・同意された。

●補正予算

一般会計補正予算書（第11号）

新木材産業拠点事業施設整備工事等1億9051万円の増額

（原案可決）

●監査委員の選任

矢津田　下城　宣夫　氏

（同意）

●計画の策定

南小国町過疎地域自立促進計画の策定について

（原案可決）

人材育成について！

井上　則臣　議員

▼議員

第一点目、良い町には良いデザイナーが有り、良いデザインが在ると思います。そこで、デザイナー養成講座を開き、自然と環境、歴史と文化、産業と観光、福祉と健康の講座を開いて頂きたい。

第二点目、地域活性化やグローバル化社会に対応する為に海外派遣の人材養成が出来ないか、私は経験が人を成長させると思っている。

是非、此の二点を人材育成の柱としてお願いし、町長の力強いお答えに期待したい。

●町長　基本は人材

町つくりの基本は人材だと思っている。

町の地域資源を見詰め直し、町の強さと弱さを認識し、強みを伸ばし、弱さをカバーする

又、全体的な現状を把握し、興味ある分野を開発する人材を育成していきたい。

海外派遣は体験こそが人を成長させる、各分野及び地域人の育成に取り組んで行く。

美しい村連合海外研修（フランス：エギス村にて）

乗合タクシーの改善を！

河津　利明　議員

▼議員

現在定期バス路線のない地域で乗合タクシーが運行されているが、前日午後8時までに予約が必要とされている。現状では当日利用しようと思っても使えない状況で利用しにくいのではないか。昨年、総務文教委員会で研修に行った鳥取県日南町では、同じようなシステムではあるが1時間前までに予約が必要ということであった。また、阿蘇駅前にも乗合タクシーの案内があるが、そこは30分前に予約となっている。

現状では町の乗合タクシーは非常に使いづらいといわざるを得ない。せめて1時間前の予約などに改善していくことが必要と考えるが、町長の考えを伺いたい。

●町長　利便性向上に向けて取り組む

町が市原タクシーに委託して運行している乗合タクシーは、26年度よりは4路線で運行している。事前予約制については、タクシー会社が車両の確保をしておく必要があるため前日午後8時までとしているが、緊急に同日の利用が必要な場合、タクシー会社が対応可能であれば当日でも受け付けている。

現在、利用者へのアンケートやバス会社、タクシー会社への調査を行っており、今年度中には結果がまとまる。それを踏まえ、小国郷公共交通会議で協議しながら、利用者の利便性向上に向けて取り組んでいく。

▼議員

乗合タクシーは時刻表もあって運行しているのであり、前日でないと車両の手配ができないということに問題がある。タクシー会社にも改善できるよう、もう少し協力を求めてもいいのではないか。

●まちづくり課長

現在調査を進めているところであり、タクシー会社の聞き取りも行っている。できるだけ利便性向上につながるように協議して改善していきたいと考えている。また、小国郷全体の問題でもあるので、小国町とも協議しながら対応したい。

樋の口、乗合タクシー停留所

小学校の部活動の取り組みは！

矢津田　道夫　議員

▼議員

小学校の部活動の取り組みについては、県教育委員会は2018年度末までに小学校運動部活動を社会体育への移行を目指す検討委員会などの準備組織を整えたという報告がなされている。町の小学校については今後どのような取り組みを行うのか伺いたい。

●町長　町の検討委員会を作ったところである

県教育委員会は小学校の運動部を順次社会体育に移行していく考えを明らかにした。しかし、この実現には課題も多く、県としても可能な地域、学校、種目から順次移行していく方針である。また、社会体育の受け皿として総合型地域スポーツクラブが考えられているが、現在町では開設していない。

県の方針を受け、町としては「南小国町スポーツ振興検討委員会」を設置したところであり、この問題については最重要課題として協議、検討することとしている。いずれにしても小学校の部活動、さらに子供たちにとってより良い方向に進むようにしたい。

▼議員

部活動の取り組みについては、土日にかけた活動も必要かと考えるが、そういったことも検討していくのか。

●教育長

2月に検討委員会の第一回を開いたところであり、PTA会長や学校の先生方も変わるので具体的には4月からと考えている。土曜日については部活動は休みにするという県の指示もあるので、町として一番いい方向を今後検討していく。

▼議員

町として社会体育への移行、総合型地域スポーツクラブを立ち上げていくと考えていいのか。

●教育委員会事務局長

総合型地域スポーツクラブについては、他の町村の現状も非常に厳しいと聞いており、町として作る予定はない。総合的に取り組むのか、種目を限定するのかについても、町にいる指導者の状況なども含めて今後検討する。

中原小とりんどうヶ丘小のサッカー試合風景

認知症の早期発見と対策について！
木で潤う地域作りの講演会について！

穴井　千秋　議員

▼議員

昨年秋、町民一人の男性が、行方不明になったまま未だ発見されていません。軽度の認知症ということでご家族のケアも必要かと思います。早期発見、早期治療の観点からも必要かと思います。対策をお聞きしたい。

●町長　見守り活動体制の準備をしていく

今回の行方不明事案は消防団はじめ多くの方々にご協力頂き3日間捜索致しましたが、残念ながら発見できませんでした。今回の反省からも、事が起きてからではなく事前の予防が何より大切。町は地域包括センターと連携し情報収集し、見守り活動体制の準備をしていく。またオレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）に沿って支援推進委員を配置し活動している。

▼議員

3月6日認知症サポーターステップアップ研修会（小国郷医療福祉ネットワーク主催）に参加しまして認知症患者のゼロのまちづくりを目指してもらいたいと思う。

●福祉課長

ならない対策は介護予防が一番で、誰のためにするのか、自分のためにするというのを町民の皆様に発信するのが行政の役割と思う。

▼議員

昨年12月から2月にかけて4回の木で潤う地域作り講演会が開催されました。町長の最後の挨拶に今後が大事だと言われました。その考えをお聞きしたい。

●町長

講演会について総数238名の参加頂きました。林業の現状知ることができ良かった。林業関係者も自分たちでできることからスタートすることが必要である。

今後の草原活動について！

荒井　邦生　議員

▼議員

まずは、小葉瀬牧野組合が野焼きで町有林へ飛び火したことをお詫びする。現在、草原の管理者は減少し高齢化が進む中、管理が困難と成っているが、町としての今後の取り組み方についてお尋ねしたい？

●町長　赤牛のブランド化で草原維持を

町独自の事業を行い、草原を維持し次世代へと繋ぎたい。

私も小葉瀬牧野組合の関係者として、町有林へ飛び火したことをお詫びします。

中山間地域等直接支払事業制度を継続し、後継者、労働不足などを改善し、赤牛のブランド化と草原維持をするために、周年放牧を有識者や大学と連携し実証実験を行っていく予定。

▼議員

放牧場の牧柵、電柵等の設置を町で願いたい、又原野の萱も町の特産品として考えて欲しい。

●町長

此の実証実験を通して、色々と検討し、萱も町の特産品として考えて行きたい。

押戸石を望む中原地区の草原

地産地消推進協議会の活動状況は！公民館分館に図書配置は！

後藤　六男　議員

▼議員

地産地消は食の安全、安心、食育、観光食材などに見える食材として重要である。現在協議会の活動状況を聞きたい。

●町長　南小国町版ＤＭＯの設立運営を行いたい

平成22年度に推進協議会を立ち上げ学校給食に積極的に活用、一昨年から南小国町の米と水のおいしさを知ってもらう生産者と消費者をつなぐきっかけ作りを目的として波居原地区で米フェスを開催している。料理食材検討会、地産地消セミナー開催、小国杉ファイルを卒業生に贈呈などの取組をした。今後の展開は農家と観光が連携することで旅館などへの食材提供や生産者との交流会、特産品、郷土料理の開発を行うなど消費者と生産者が信頼される関係を作ることにより、町民生活に地産地消が定着したまちづくりを目指す。

●農林課長

1月1日付で農林課に特産品開発、地産地消、独自産業化という専属で専門的に職員2名配置している。農業と旅館を連結するためアンケート調査し出荷者協議会と連携しきよらカァサを拠点に地産地消推進を図りたい。

▼議員

町内に公民館分館があるが図書の配置はできないか。また昨年9月議会の私の質問の進捗状況を回答して頂きたい。

●町長

公民館分館に図書を配置する予定はない。また図書室の充実のためにコミュニティセンターを改装、整備したい。このためには現在事務所を置いている商工会の移転先等も考慮したい。また図書室の新刊購入費を昨年より5万円上乗せして20万円の予算を28年度当初予算に計上する。

町の人口減少、定住促進の対策は！

穴井　則之　議員

▼議員

2015年の国勢調査で初の全国総人口が減少に転じた。熊本県も2000年以降人口が減少傾向で、本町も高い割合で人口減少が進んでいる。人口ビジョンでは2060年には2500人近くになるという資産もでている。人口減少問題は早くから指摘されていたにもかかわらず、これまでに何も対策を講じてこなかった現実があり今後、人口減少が続けば、町としていろいろな問題が出てくるのではないかと思われる。人口減少、定住促進等の町独自の早めの対策が必要ではないか、町長に伺いたい。

●町長　創生総合戦略を実行する

南小国町人口ビジョンにおいて示す本町の人口の現状と、将来の展望今後5ヵ年の4つの基本目標や施策の基本方向、具体的施策として策定した南小国町まち・ひと・しごと創生総合戦略を実行し、2030年に合計特殊出生率を1・71から2・1に向上させ、人口減にブレーキをかけ2060年に2600人をキープすることを目指すことにした。人口減を穏やかにするためにも、生業を作ることと住環境の整備を早急に進めることが必要であると考える。喫緊の課題である高速通信網の整備、赤牛の周年放牧の実証実験、木質エネルギーの活用体制の確立、農産品の販路拡大、シルバー人材センターを生かした事業の拡大、子育て世代が安心して働く為の保育時間の延長などを進めながら生業作りを前進させ、雇用の創出につなげていく。また空き家の実態を把握し、家屋調査の上、空き家バンク登録により移住定住希望者に紹介をしていくなど具体的な検討を行いたい。

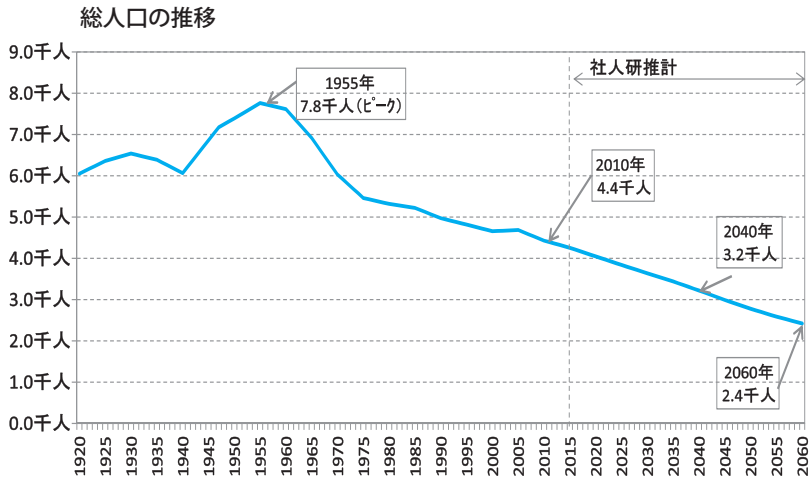
▼議員

次に農林業・観光などの担い手不足も大変な問題で生産人口の減少などをどう捉えていくのかをお伺いしたい。

●町長

行政だけでは限りがあるので、町民の方も一緒になってワークショップとか講演会等に参加していただき情報の共有、課題の共有をしながら農業・林業をどうすべきなのかお互いに知恵を出し合わないとこれからの存続は厳しくなると考える。

南小国町 まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口ビジョン推計



発　行　南　小　国　町　議　会
編　集　広報調査対策特別委員会

〒869-2492
熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場 143 番地
☎ 0967-42-1111㈹　FAX 0967-42-1122

中原西井手への落石

平成27・28年議長・議会日誌

2月	12～14	ほこすぎ会定期総会
	17	熊本県町村議会議長会定期総会
	18	阿蘇広域議会運営委員会
	19	旧議員会定期総会
	25	菊池恵楓園視察
	28	南小国町駅伝大会
	29	阿蘇広域議会定例会
3月	1	小国高校卒業式
	1	議会運営委員会
	9	総務文教常任委員会
	10	満願寺温泉感謝祭
	11	南小国中学校卒業式
	11	小国支援学校卒業式
3月	8～14	第１回定例会(5日間)
	23	町内小学校卒業式
	24	ＪＲ豊肥線電化推進要望
	28	第２回臨時会
4月	8	小国高校入学式
	11	各小学校・中学校入学式
5月	11	議会広報委員会
	18	議員勉強会
	21	南小国中学校体育大会
	21	すぎのこ運動会
	23	議会広報委員会
	23	阿蘇市町村議長会総会
	24	阿蘇広域議会運営委員会

※今尚、余震が続いてますが、４月 14・16 日の震度７熊本地震により幾多の行事が中止となりましたが、議会広報紙も１月遅れの６月号発行となっております。

編集後記

4月14日、16日の2度に渡り震度7の予期せぬ熊本地震が起き、地震災害はどんなときも、どんなところでも起こり得ることを改めて思い知らされました。

当町においても、余震は治まらず不便な避難所での生活を余儀なくされ、またライフライン、飲料水の確保等過去に例を見ない体験となりました。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。57号線道路崩落は観光を主要産業とする当町にとって大きな打撃であり早期の復旧を願うばかりです。

議会としても、より一層防災対策の拡充を図り、安心安全な町づくりに取り組んでまいります。

（児玉秀次郎）

発行責任者
議　長　平野　昭夫
広報調査対策特別委員会
委員長　河津　利明
副委員長　井上　則臣
委　員　後藤　六男
委　員　児玉秀次郎